

保険者国保事業紹介



宇治市



宇治市の国民健康保険事業では、加入者数が減少傾向にあるものの、高齢化等により一人あたりの医療費等関連支出の増加傾向が続いており、ますます厳しい財政環境にあります。このような状況の中、宇治市国民健康保険運営協議会からの答申に基づき、平成 29 年度においても健全に国保事業を運営するため、保険料収納率の向上や医療費の適正化、保健事業の推進などに引き続き取り組んでいます。また、職員のスキルや資質向上、被保険者への対応のさらなる改善を図るため、課内で定期的に研修や議論を自主的に行っています。



■保険料収納率の向上に向けた取り組み■

宇治市では平成 23 年度からコンビニ収納を実施しているほか、平成 26 年度からは窓口で金融機関のキャッシュカードを利用して口座振替手続きができるようになり、被保険者の利便性の向上を図っています。また、夜間や休日の開庁日を設けて納付相談等に応じるなど、様々な取り組みを行っています。

■医療費の適正化について■

常時嘱託職員を配置してレセプト点検の強化に取り組んでいます。また、被保険者への医療費の通知や後発医薬品の差額通知を実施するなど継続した取り組みを行うとともに、市の広報紙に啓発記事を掲載するなど、被保険者への周知啓発等を行っています。

■保健事業の推進■

宇治市の特定健康診査は、一般会計で実施しているがん検診等の他の検診と連携して実施しており、市内の協力医療機関で受診することができます。また、受診者の自己負担金を平成 27 年度から無料化したほか、未受診者へ通知や電話勧奨を実施するなど受診率の向上に取り組んでいます。そのほか、人間ドックについては、平成 29 年度から定員の拡充を図るなど、保健事業のさらなる推進を図っていきます。



■さらなる改善をめざして■

職員それぞれの業務スキルの向上や窓口対応の改善をめざして、各係より選ばれた推進委員を中心に自主的な研修や改善に向けた活発な議論を積極的に行っています。窓口では、それぞれの担当業務にこだわらず、全員ですべての内容について対応を行っており、そのためのマニュアルや研修体制を設けています。平成 29 年度中には、窓口案内表示システムの導入も予定しており、さらなる改善に向けて日々取り組んでいきます。

